

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月19日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	鹿児島市役所	代表者名	鹿児島市長 森 博幸
担当者部署	総務局	連絡先電話番号	099-216-1115
担当者役職		担当者氏名	
住所	892-8677 鹿児島県鹿児島市山下町11-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中山 健太
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	宇城市でのRPA導入の実例を元に、効果的に運用されているものだけでなく、運用上課題があるものも含めて紹介していただき、導入における注意点等を知ることができた。また、RPA導入に係るスケジュールや推進体制、事業の棚卸、対象業務の選定など、実体験に基づき分かりやすく講演いただき、今後のRPA導入検討の参考になった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月15日	14時30分	16時00分		90
3-2. 派遣場所	会場名	かごしま市民福祉プラザ		最寄駅	鹿児島駅
	所在地	鹿児島市山下町15-1			
	最寄駅からの交通手段	市電、バス			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	130人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	他都市調査等を含めて検討のうえRPA導入を目指す、実際に使用するのは現場であることから、どのような業務に有効なのか、職員の負担がどの程度発生するのか、想定通りの効果が見込めるのかなどの検証が必要。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	担当課においてどの業務が自動化できるかについて、アウトソーシングできる作業を棚卸し、効果や費用などを検討し、RPA導入を含めた業務改善を進めていく。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	宇城市でのRPA導入の実例を元に、必要となった経緯、導入手順、導入対象事務、作業内容、分析結果、導入効果、費用などについて、くわしく講演いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	RPA導入を考える前に、まず、業務の見える化、業務手順等の見直し等から始めて、自動化できる業務があるかを検討する事が必要であるということ、また、費用対効果を上げるために、一つのパソコンで複数の業務をさせるなど、複数業務を一括することが必要なことから、RPA導入のプロジェクトチームが必要であると認識できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 職員のRPA、AIへの認識が深まり、担当業務に活用できそうだという意見も多く、RPA導入を含め、業務改善を考える機会となった。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート集計結果を添付	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	RPA導入を含めた業務改善を進め、職員の定型作業負担軽減を目指し、付加価値の高い業務などへ、人と時間の再配分を行う。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

